

“グリーンシェアクッキング”

—悲しみを分かち合う料理教室—¹

坂上和子

1. 遊びのボランティア 35 年の歩みの中で

本日は子どもを亡くされたご家族を対象にした料理教室についてお話をさせていただきます。

“グリーンシェアクッキング”は2022年、コロナ禍の中で始まりました。この3年間で約40人の親御さんたちが参加されました。この話に入る前に私たち遊びのボランティアについてお話しします。

私たちは入院している子どもと遊ぶ団体で、みんなから“ガラガラドン”と呼ばれています。1991年に始まって今年で35年になります。活動先は東京都新宿区にある高度医療の病院「国立国際医療センター」です。私はかつて保育園で保育士をしていました。元気いっぱい走り回る保育園の子どもと違い、病院にいる子どもは狭いベッド空間にいて、点滴がついて自由に動くことも出来ない。そんな環境を知って胸が痛み、保育士仲間と一緒にこの活動を始めました。最初は活動に必要なおもちゃも無く、バザーをして資金を募ったり、ボランティアを募集したり、いろいろな苦労がありました。活動の主な柱は次の2点。

①「子どもの遊ぶ権利を守る」

②「付き添い家族にレスパイト（休息）を提供する」

毎週土曜に10人ほどのボランティアが約20床の病棟を訪問して60分ほど遊びます。個室やプレイルームでボランティ